

目次

自由＊空間	「阪南市お奨めスポットの紹介」首斬り地蔵	-----	P2
私の読後感	「魔法の言葉」	-----	P2
私のおすすめ	『少年舞妓千代菊がゆく！花見小路におこしやす』	-----	P3
	『美しい町』	-----	P3
図書館からのお知らせ	-----	-----	P4

「はんなん紙芝居」の紹介

「はんなん紙芝居」は、昨年二月に、紙芝居を上演したり、紙芝居を製作したりする活動を目的に発足しました。

紙芝居は、今から六十年ほど前までは、子どもたちがこつこつとなくてはならないものでした。「紙芝居のおっちゃん」は、何日か一度決まった日に来てくれました。

近所の駄菓子屋では売っていない珍しいお菓子を、売っていました。水飴、型抜き飴などでした。その飴をなめなめ、おっちゃんの演じる物語に酔いしれたものでした。そんな紙芝居のおっちゃんも今はもう見られなくなりました。

今は、子どもたちの興味は絵本に取って代わられていると思います。「子どもたちと紙芝居を楽しめたらなあ。」と思っていたら、身近な阪南市立図書館に紙芝居がとっぴりあります。

した。

「しめた。宝の山だ。」と思いました。しかも、図書館の「おはなしのへや」で、上演させてもらえるところになりました。

昨年度は、毎月第四土曜日に、今年度からは、毎月最終の日曜日に上演しています。

何が楽しいと言って、自分たちよりずっと若い子どもたちと話し、掛け合いをすることが、楽しくて仕方がないので。若返ります。元気が出ます。

歌も一緒に歌います。手遊びもします。クイズや手品もします。子どもたちの歌声、子どもたちの答え、子どもたちの驚きの目、すべてが私たちを元気にしてくれます。

また、七月より高齢者施設にも上演に行くようになりました。思い出話に花が咲きます。目を輝かせつつなすきながら、紙芝居を食い

入るように見られます。子どもたちに対する上演とはまた違った感動があります。そして、元気をもらっています。

若さを保ち元気になる紙芝居の上演を、私達と一緒にやりませんか？

（関心のある方は、毎月最終日曜日の午後二時より、阪南市立図書館の「おはなしのへや」で紙芝居を上演していますのでおいでください。）

「はんなん紙芝居」

橋本 一郎



阪南市のお奨めスポットの紹介 「首斬り地蔵」



自由空間



一五八五年、秀吉が根来寺を征伐した折、波有手(ほうて)に有ったと思われる道弘寺を始め、いくつかの村が焼かれ、僧達は秀吉に抵抗したかどで、ことごとく首を斬られてしまいました。村人達はあまりの無残さに、斬られた僧達の首を一か所に集めて手厚く葬り、その上に首から上が無い地蔵を建てて非業に命を断たれた僧達の冥福を祈ったと言い伝えられています。以来この地蔵を「首斬り地蔵」と呼んでいま

す。周辺の石田地区では、この地蔵を大切に祀れば村が繁栄すると言い伝えがあり、現在十人の女性で、この地蔵のお守り、敷地の清掃、周辺の草刈り、祭りの行事等、お世話をしています。地蔵の前には、椅子が並べられ、大切に祀っておられる様子が伺えます。お世話している人にお聞きしますと本堂、脇堂を数年前に新築されました。生花も絶えず新しいものが活けてありますが、潤沢な費銭

ですべて賄っているそうです。近郷、近在を問わず参詣の人が多く、首から下の病に効能があると伝えられて、病持ちの方がたくさんお詣りに訪れます。首から下の病に御利益を特化しているの、信者の心をつかんでいるのではないのでしょうか。

これは阪南のパワースポットだと思います。

まちおこし夢テラス
大和田 裕一

《私の読後感》 『魔法のことば』 星野道夫講演集

星野 道夫 / 著 スイッチパブリッシング社

295.3

21世紀、文明、科学他が進歩した現代、「何を求めているんや」と思われるでしょうが、どんなに進んでも、どうにもならない事、それは自然の偉大な力。そして、旅行好きの方でも、おそらく行かれた方は非常に少ないと

思われるアラスカの大自然と、そこで暮らす人々と動物の話です。一読後—

「アラ、スカッとしたわ！」と日常の生活に今までと違った感覚で向かえたら・・・

それは魔法デス。

門脇 容子

奈波はるか / 著 集英社コバルト文庫 YA ナナ

JULIA 出版局 911.5カ

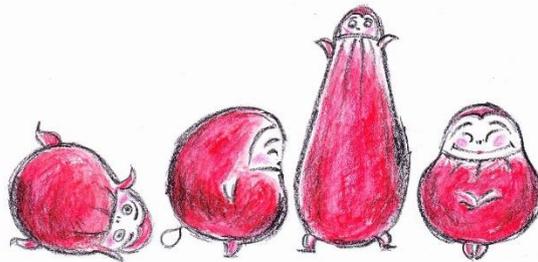
十二年かけ、五十四冊で完了した人気シリーズの第一巻です。祇園の置屋、吉乃家の一人息子、岡村美希也は華奢な中学一年生。祇園祭の忙しい日に、吉乃家の舞妓が一人、行方不明に。お座敷はすべて埋まっているのに、舞妓がいない。他の置

屋にもこの日ばかりは暇な舞妓など一人もいない。困った母(女将)を見かねた美希也が、一日限りのつもりで見習い舞妓・千代菊になってお座敷に出ること。ところが、祇園のVIP榎崎慎一郎はじめご臈屋のお客様が何人も現れて、引っ込みがつかなくなった千代菊は、修行して本物

の舞妓になって・・・男の子とばれるかばれないかのドキドキをお楽しみください。

廣瀬 まゆみ

私のおすすめ



朝焼け小焼だ
大漁だ
大羽鰯(いわし)の
大漁だ
濱は祭りの
やうだけれど
海のなかでは
何萬の
鰯(いわし)のとむらひ
するだらう。
(金子みすず「大漁」より)

金子みすずの詩に出会い、私たちは誰もが知っていて誰もが普段気付いていない日常の風景に驚かされる。私達が大漁だ、大漁だと大喜びをしているとき、海のなかでは家族恋人を失った幾萬の鰯の葬式が営まれているだらう風景を描き、食物連鎖の自然界で私達の生命を育むために、多くの命が失われていく事に感謝する大切さを教えてくれる。

金子みすずは明治三十五年山口県で生まれ、昭和五年に不遇の運命の中二十六年の短い生涯を自ら閉じた。「こたまでしようか・・・」みすずのこの詩は、あの四年前の東日本大震災の後、ACジャパンのCMの中で長く流されていたのを、覚えておられる人も多いのでは？

竹山 保男

『児童書』 『だるまさんが』 かがくい ひろし / さく ブロンズ新社 E.EA

小さくてページ数も少ない本ですが、読んでみると思わず声を出して笑いたくなる事、請け合いです。

小さな子ども達は「だ・る・ま・さ・ん・が」と声を出して一緒に読んでくれます。最初の「だるまさんが」の次のページが、とても楽しく期待を裏切ってくれるので、その次の「だるまさんが」の後は何がくるのかとってもワクワクしながらページをめくることができます。

一度中学生に読んだ時、聞き手の中学生がおもしろいのだけれど、笑っていいのかな？ 笑うのははずかしいなあと思うそぶりをしながらも、本を見てくれていた事を思い出します。

年齢に関係なく楽しめる本だと思います。誰かに読んであげるのも、又一一緒に読むのも、もちろん一人で読んで、にんまりするのも大丈夫。是非読んでみてください。他に『だるまさんの』『だるまさんと』もあり愉快的なシリーズです。

スマイル Y.T.

登場

地域資料コーナー



阪南市に関する歴史中心の「郷土資料コーナー」が、場所を移動し、「地域資料コーナー」として生まれ変わりました。今までの小さいスペースが倍に増えました！場所も、よく見えるところに移動しましたので、ぜひご覧ください。(棚番号16、CD席そば、ソファのすぐ横です。)

地域の情報、市の計画等、どんどん追加していきます。地域のグループの会報等も、ぜひご寄贈ください。阪南市の情報が充実するよう、市民の皆様のご協力・ご寄贈をお願いします。



図書館誕生日イベント **11月3日** は
図書館に行こう!

「家庭読書の日スタンプ」
もう一つ押しますデー

おはなしかいスペシャル

11月3日(火・祝)

①午前11時～11時45分

②午後2時～2時45分

場所：おはなしのへや

内容：マジック・腹話術 ほか

協力：①南海奇術クラブ

②ニンニン一座



書庫開放デー

11月3日(火・祝)

午後2時～4時30分

場所：サラダホール3階書庫

内容：普段は立ち入ることのできない書庫を開放します。

年に一度、書庫の本を直接選んで借りることができる、貴重な機会です。

